



ともいび

Vol.65

発行
令和7年7月1日

揮毫 村山 峰子



国指定重要文化財：松茸神社本殿

明るい社会実現のために みんなで考えたいこと



十日町・津南地区保護司会

会長 服部 安英

日頃より地域の皆様方には、更生保護活動において、愛の協力運動をはじめ多大なるご協力を頂いておりますことに心より御礼申し上げます。

本年五月、十日町・津南地区保護司会総会において、三輪前会長より後任として会長という重責をお引き受けすることとなりました。浅学非才ではありますが精一杯務めたいと存じます。よろしくお願いいたします。

さて、毎年七月を強化月間として、「社会を明るくする運動」が執り行われています。これはすべての国民が犯罪や非行のない安全で安心な社会を目指し、また、犯罪や非行をした人たちの更生を支援することを目的に実施されるものです。今年で七十五回目となります。現在当地区保護司会には四十一名が在籍しています。ボランティア活動として犯罪や非行のない社会づくりの予防活動や更生支援などの活動を行っています。また、更生保護女性会の皆様方とも連携し活動しています。

最近の犯罪傾向はスマートフォンなどのデジタル機器を使ったものが多くすぐには見つけにくく、また、巧妙化しています。加えて若年層に浸透する傾向にあります。家族をはじめ社会全体で行動を察知し予防していくことが必要です。また、犯罪をした人たちの立直りを支援するためにも、就労支援など私たちができることを考える機会としたいと思います。

こうした活動を推進していくためにも地域の皆様方からの貴重な浄財をお願いしています。ご理解とご協力をお願いいたします。

明るい社会 実現のために みんな で考えたいこと

もつと若い世代に



保護司会
十日町分区
樋口 晴喜

昨年制度化された国際保護ボランティアの日の初の記念日となった十七日の翌日、読売新聞に日本の保護司制度が海外から注目されている記事が掲載されていました。海外の一部の国では受刑者が刑務所の収容人数を超過している現状のため、日本の制度が参考になる様な内容でした。しかし、保護司育成には多数の問題が山積になっていて内容も含まれていました。国内でも人員不足、保護司の高齢化という問題が現実です。この問題は若い世代から更正保護に興味をもってもらい、いかに過ちを犯さないか身近な問

題として考えてほしいと思います。

関連している訳ではないですが、二月頃の夕方のテレビ番組で、某少年刑務所内の女子受刑者七名ほどが、地元中学校を対象に、援業見学や合唱を披露するといった内容が放送されました。中学生とは年齢が離れています。が、犯した罪と向きあい社会復帰に向けた指導の他に年一回の中学校との交流、メーンである生徒の前で合唱する姿が写し出されていました。合唱終了後、突然生徒達が立ち上り合唱を始め、番組終了後、生徒数名の感想が述べられました。これらの特集は十分ほどではありましたが充分なインパクトがあつたと思います。多くの若い世代が何らかの更正保護事業に興味をもつてほしいと思います。

明るい社会を 作るために



保護司会
川西分区
宮 新一

本年の三月末を以つて、保護司の職を退任することになりました。その間、様々な人に巡り合い、助力をいただき感謝申し上げます。

私事ですが、令和に入つて相次いで両親を見送ることができました。共に九十半ばまで生きて長寿を全うすることができました。老々介護も少し経験することができました。両親が元気なころ、毎朝仏壇に線香・ろうそくを上げることが日課でありました。その日課は、今、私たち夫婦が引き継いでおります。世界の平和と家族の安全を願い、手を合わせています。このさきや



明るい社会実現のために あなたは何かができるか



保護司会
中里分区
松崎 真雄

「明るい社会実現のために」私には何ができるのか考えたとき、すぐには何もわからな

な日課を毎日続けられることは大変幸せなことであります。よく言われることに「子供は親を選べない」、また、生まれてくる国も選択できません。戦禍に巻き込まれることなくこの国に暮らしていることは本当にありがたいことです。地球上には、様々な課題を抱えて生きている人々がいます。そんな人々に穏やかな日常が戻ってくることを心から願っています。

最後になりますが、少し道を踏み外し、非日常的な生活をしている人達に、映画「幸せの黄色いハンカチ」に由来する黄色のバッチを胸に、更生保護活動でこの世の中を少しでも明るくしようと頑張っている多くの保護司の方々に、エールを送りたいと思います。

かったのです。そもそも、自分と家族の生活で手一杯でありました。それなのに、他の周りの人の事、まして社会を明るくするために何かをする余裕なんて無かったのです。保護司を拝命して二十年ほど、毎年この七月には強調月間として、何ができるか考え意見の交換を繰り返してきます。少しだけ解ってきたことがあります。

私たちは、苦しくて辛い生活をしている人々がいる事を知っています。理由はそれぞれですが、生きづらさを感じている人は少なくありません。実はそれをなんとかしてあげたいと思う人はたくさん居るのです。

私の幼少の頃、我家も近所も裕福な家庭は少なかったでしょう。その分生活の共同体として助け合い協力しないと生きられないこともありました。生活の声も聞こえていましたし、おかずの匂いも分かっていました。

現在は、快適な生活を送れるようになってきました。その分互いの生活や悩みは見えなく感じなくなっています。私たちは語り合う事を止め

明るく穏やかな
社会を目指して！



保護司会
松代松之山分區
志賀義雄

また、保護司会や更生保護女性会の諸先輩から助言をいただいたり、関連施設を視察させていただいたりするなど更に知見を広めたいと思っています。

さて、世界ではロシアのウクライナ侵攻やイスラエルとハマスの紛争など目を覆いたくなる惨状がまだまだ続いています。国内では頻繁に報道される殺人事件や交通死亡事故が続いています。当事者や関係者の事を考えるとそれぞれ

また、毎日を忙しく過ごし

ていると気持ちに余裕がなくなり、そんな時は何とか時間を作り、リラックスできる空間に訪れてみてはいかがでしょうか。私の地元には四季折々の彩りを楽しめる「美人林」や日本三大薬湯の「松之山温泉」があります。森林浴のあと温泉に浸かりリフレッシュしていただく。少しでもゆとりのある生活から明るく穏やかな社会につなげていきましよう。



江村倫子

下平勢動會

私は津南駅近くに住んでいます。この地区は下平地区と言ひ押付二十六件、小島四十五件、巻下二十件の三つの集落があります。現在、下平地

区には老人会、婦人会も無く、昔のようにお茶飲みに歩く人も少なく、なかなか皆で集まる機会がありません。そこに二十代から五十代が活動している下平勢動會ができました。一回目の活動はお年寄りを対象にしたバーベキューで五十人ほど集まりました。朝から待つているおばあちゃんがいたり、皆が待ちに待つていた会です。送迎は申し出があればその家の前から会場までしてくれました。

久しぶりに会う人「めめだ
ったかい」「元氣だったかい」
「ふつさあだったけのー」と
話はずみ、いろいろな情報
も聞くことができました。

勢動會の人の話によると、準備をしている際「テントを運ぶのに俺、会社からトラックを借りて来る」といったように皆自分が協力できる事を話しながら、準備を進めていたようです。話を聞いて若衆の絆を感じました。

二回目は、昼間はお年寄りを対象に夕方からは若い親子が加わり花火をしたり、飲んだり、食べたりして、子どもたちは大喜びのようでした。

いろいろな物事が共有できれば困っている時はお節介にならない程度に手を借す事ができ、また防犯にもつながると思っています。

そんな活動の一端になる勢動會。これからどんなイベントを企画してくれるのか楽しみにエールを贈りたい。頑張れ勢動會。いつでも応援しています。



十日町・津南地区
更生保護女性会
清水良子

更生保護女性会
への思い

今新聞やTVを見ても、毎日、毎日いじめ問題、殺人といやなニュースが紙面と画面

にのつてゐる。本当にどうなるんだらうと思うこの頃ですね。私も八十才、こんなに人生を過ごしてくると誰にでもある事ですすが私にもいろんな事がありました。今思うとあれはいじめだったのかもという事もありました。でも何とか生きぬく事ができ、六十五才迄働く事もできました。でもそれは家族、友人、知人と

周りの人達に恵まれていたおかげだと思えます。

そんな中で退職後勧められて、いろんな地域の役をやらせて頂きました。仕事の時とは違った方々と知り合い、話をさせて頂きいろいろと学ばせてもらいました。更生保護女性会に入会させてもらったのもその時です。津南の仲間や、十日町地区の会員の方との出会いがあつたとともに、新潟や長岡、県外の保護施設への訪問と勉強をさせて頂きました。人間は大なり小なり間違いを起こす事はみんなあると思いますが、それを正す事ができるのもまた人間です。周りにいる方々の人となりを見習い、助けてもらったり、助けたりしながら生きていきたいと思えます。

そして先日新聞で今、日本の保護司活動が海外から注目されているという記事を読みました。すばらしい事です。ね。再犯防止にとっても効果的の事でした。ボランティアでやって下さっている保護司の方々には本当に頭が下がります。私達更生保護女性会の会員も村山会長の元で少しでも皆様のお役に立てる様頑張ります。



保育園児がホゴちゃんぬりえを上手にぬってくれました。

更生保護女性会に入会して二十年が過ぎましたが、母親も会員でしたので長いおつきあいをさせていただいています。年間の活動としての第一歩が「社会を明るくする運動」で保護司さんと共に小・中学校を訪問し情報交換をしています。また各種研修会への参加や少年学院への慰問、運動会の支援等様々な活動を行っています。コロナ禍以来会員の減少もあり、会員皆さんで雑巾作りをしてきずなを深めており、雑巾を学校や福祉施設に寄贈して喜ばれています。

市民の皆様にはいつも更女の会に御支援を賜りありがとうございます。七十周年事業も済み、設立当時の正副婦人会長を芯棒にして犯罪に陥った人の更生を助けるという発想に改めて敬意と感謝を申し上げます。昭和天皇の良子皇后様も大賛同で御自作の和歌を寄せられ国母として私達を指導されております。

御歌「きずつきし、心の子らを、いだしよする、ははともなりて、いつくしまなん」



会長
村山 峰子



津南地区
福崎やう子

更生保護女性会に入会して二十年経ちました。活動と言っても目立つ活動はしていないので、一般の人は知らない人が多いと思います。私達の活動は家族はもちろん、仲間も隣の人も、集落の人も、世界の国の人も、誰もがみんな幸せであってほしいという基本的な強い願いを持って行動することなのだと思います。また今年も社会が明るくなる様に見えないところの活動も一生懸命いたします。



川西地区
星名美江子

新潟少年学院で運動会の応援をしてみました。雨上りの青空の下、若者たちの力強くきびきびした動きに拍手がわきあがりました。先生方も少年達と一緒に走り回ったり声をかけたりして盛り上げていました。親子競技では、家族の元へかけ寄り、寄りそって参加する姿がとても印象的でした。



松代松之山地区
村山 悦子

私は更女の会に入会してから十五年目となります。私が中里の保護司会との初めての視察研修は金沢刑務所でした。今まで触れる事のない世界なので鮮明に心に残っています。現在の活動は小中学校訪問や時間のあいた時集って雑巾縫いや、新潟少年学院訪問等色々な活動をやっています。微力ですが会員の方々と一緒に頑張って活動していきたいと思っています。



中里地区
島田 弘子



保育園に
ホゴちゃんぬりえプレゼント



十日町きものまつりでの街頭啓発



新潟県更生保護女性の集い

保護司会活動の様子



内閣総理大臣メッセージ 津南町長への伝達



内閣総理大臣メッセージ 十日町市長への伝達



新潟地方裁判所視察研修



新潟刑務所（川岸寮）視察研修



第3期地域別定例研修会



津南中等教育学校公開講座



公開ケース研究会



学校訪問

第75回“社会を明るくする運動”

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

“社会を明るくする運動”は、すべての国民の皆様が、犯罪・非行の防止と立ち直りの支援についての理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、明るい地域社会を築くための全国的な運動です。昭和26年に始まって以来、多くの方々の御賛同・御協力を得て、今年で75回目を迎えました。

犯罪や非行の背景には、望まない孤独や社会の中での“生きづらさ”が存在していることが少なくありません。また、過去の過ちから立ち直ろうとする人々には、十分な時間と地域の中での居場所が必要です。悩める方々に寄り添い、互いに相手を受け容れることが、安全で安心な明るい社会の実現につながります。

こうした観点から、私たちが暮らす地域では、保護司や協力雇用主を始めとする「更生保護ボランティア」の皆様が、社会復帰を目指す人々を身近で支え、その再出発を助けています。政府においても、再犯防止のための就労支援、保護司等との連携強化、町ぐるみの防犯活動の促進などに取り組んでいます。

この運動を通じて、より多くの国民の皆様にも、立ち直り支援の活動を知っていただき、協力の輪が広がっていくことを期待いたします。併せて、「人は変われる」と信じ、それを待つことの大切さについても、御理解をいただければ幸いです。「幸福の黄色い羽根」のもと、多様な背景を持つ人々が、理解し合い、支え合うことによって、犯罪や非行のない明るい地域社会が実現するよう取り組んでまいりますので、国民の皆様の御協力をお願い申し上げます。

内閣総理大臣

石破 茂

功労者表彰

更生保護事業に対する
永年のご功労、
ご功績により、その榮譽に浴されました。

令和6年度 法務大臣表彰

中里分区 松崎 真雄 様
津南分区 駒形 和貴 様

令和6年度 十日町市褒章

十日町分区 福原 勝 様

新任保護司紹介

志賀 義雄 様

松代松之山分区
令和6年10月1日委嘱

よろしくお願いします

令和6年度 『愛の協力運動』のお礼

「愛の協力運動」にご協力いただき、ありがとうございました。皆様からご浄財として拠出いただきました協力金は、保護司会活動の大きな支えとなっています。今後とも本運動へのご理解とご協力をお願いいたします。

令和6年度「愛の協力運動」十日町・津南地区実績

会 員 数：18,720世帯
協力金額：2,852,991円

—— 十日町・津南地区での主な使途 ——

- 犯罪予防活動（社会を明るくする運動活動費、広報誌発行費など）
- 研修費（研修・研究・更生保護施設視察費など）
- 助成費（更生保護関係団体への助成費）
- 事務費（会費募集事務費など）

幸せの黄色い羽根

犯罪のない幸福で明るい社会を願うシンボルマークです。地域の安全・安心のため、犯罪や非行のない明るい社会づくりへのご協力をお願いします。

